

2019 年度 D P C 試行データ用
提出データ 形式チェックソフト

インストールマニュアル

(株)健康保険医療情報総合研究所

以下の内容は、作業前に必ず確認して下さい

【注意事項】

- ① 必ずコンピュータの管理者権限を持つユーザーで作業を行ってください。
- ② インストールできない場合は、他のPCでのインストールおよび運用をお勧めいたします。
- ③ 当ソフトは院内の環境設定などにより、動作しない場合があります。完全に動作保証するものではありませんのでご了承ください。
- ④ セットアップ作業には、十分な作業時間を確保したうえで、行ってください。
なお、セットアップ時間については、コンピュータのスペックや環境によって異なります。
- ⑤ 他のシステムやアプリケーションは、作業が完了するまで起動しないでください。
起動している場合は、すべて終了させてから作業を開始してください。

變更履歷

[illegible]

目次

概要.....	4
目的.....	4
動作環境.....	4
形式チェックソフト（試行用）のインストーラーの機能.....	4
インストール方法.....	5
インストール作業の流れ.....	5
形式チェックソフト（試行用） ダウンロード.....	5
形式チェックソフト（試行用） インストーラーの実行.....	5
管理者アカウントのパスワード入力.....	6
.NET Framework 4.0 以上がインストールされていない場合.....	6
.NET Framework 3.5 の有効化.....	7
2019 年度 形式チェックソフト（試行用）のインストール.....	8
SQL Server 2014 手動セットアップ.....	13
初回認証.....	18
アンインストール方法.....	19
Q&A.....	20
インストールができない場合.....	21
添付するエラー情報.....	21

概要

目的

データ提出加算取得のため、厚生労働省に DPC 試行データを提出する前に、各医療機関でデータ形式に係わるチェックを事前に行い、データ精度を向上させ形式的なエラーを除いた上で DPC 試行データを提出することを目的とし、データ提出開始届出書（様式 40 の 5）を地方厚生局へ提出を行い事務局に登録が行われた出来高算定病院に配布するものです。

動作環境

OS 及び DB : Windows 7 SP1(64bit,32bit) + SQLServer2014Express SP3

Windows 8.1 + SQLServer2014 Express SP3

Windows10 + SQLServer2014 Express SP3 を推奨

※Windows 8.1、Windows10 では.NET Frameworks 3.5 の有効化が必要

※Windows 7 につきましては、2020 年 1 月 14 日をもってマイクロソフト社の延長サポートが終了するため、終了後の動作保証は出来かねますことをご了承ください。

CPU : SQLServer で要求されている性能をみたすもの

※Pentium4 以上推奨

メモリ : 2G バイト以上推奨

要インストールソフト : Microsoft 社 EXCEL2010 以上のバージョン

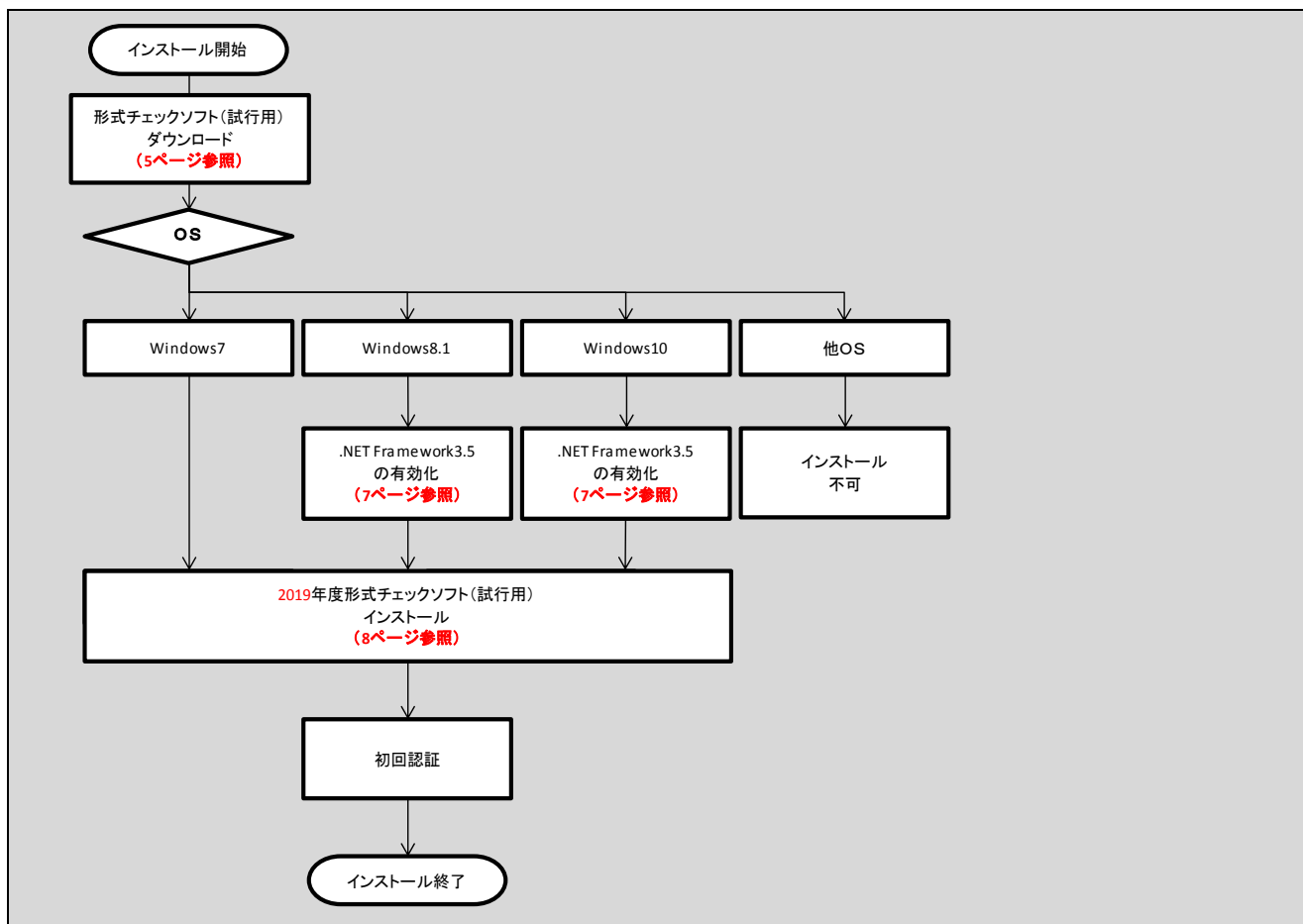
※XLS 形式のみ対応

形式チェックソフト（試行用）のインストーラーの機能

機能	概要
① 「.NET Framework3.5」インストール補助機能	Windows8.1/Windows10 で「.NET Framework 3.5」がインストールされていない場合、「.NET Framework 3.5 インストール」ガイドにより OS のインストールメディアから「.NET Framework 3.5」を有効にします
② インストール PC の動作環境チェック	「コンピュータの診断」により動作環境が全て整っているか確認を行います
③ 「.NET Framework4.0」インストール補助機能	「インストール PC の動作環境チェック」で「.NET Framework 4.0」がインストールされていない場合、「.NET Framework 4.0」をインストールすることができます
④ 「SQLServer2014 Express SP3」の自動インストール	形式チェックソフト（試行用）で利用する「SQLServer2014 Express SP3」を自動的にインストールします
⑤ 形式チェックソフト（試行用）のインストール	形式チェックソフト（試行用）をインストールします

インストール方法

インストール作業の流れ



形式チェックソフト（試行用） ダウンロード

「2019 年度 DPC 導入の影響評価に係る調査関連情報」のホームページからインストーラー「**2019 形式チェックソフト_試行データ提出用_Setup.EXE**」をダウンロードします。
新規インストールの場合は、「SQLEXP.ssi」も合わせてダウンロードします。

＜ダウンロードサイト＞ https://www.prrism.com/dpc/2019/testdatacheck_top.html

形式チェックソフト（試行用） インストーラーの実行


ダウンロードした「**2019 形式チェックソフト_試行データ提出用_Setup.EXE**」をダブルクリックし、インストーラーを実行します。

※ 必ずインストールPCのローカルディスクから実行してください。

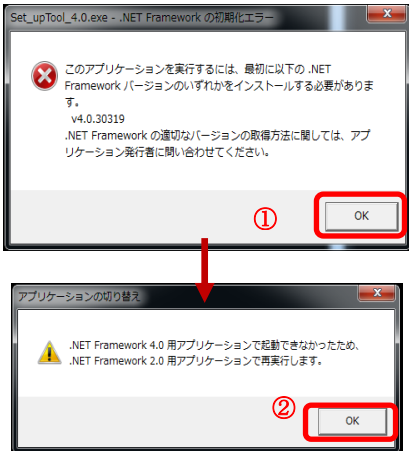

- ① 「.NET Framework 3.5」が有効化されていない場合
⇒ 「.NET Framework 3.5」の有効化（7 ページ）から実行
✧ Windows8.1 / Windows10 で新規インストールの場合 など
- ② 「.NET Framework 3.5」が有効化されている場合
⇒ 「**2019 年度 形式チェックソフト（試行用）** インストール（8 ページ）から実行
✧ 「平成 30 年度 形式チェックソフト（試行用）」がインストールされている場合 など

管理者アカウントのパスワード入力

●「ユーザーアカウント制御」画面

画面	操作説明
	<p>① 本ツールのインストールは管理者権限で実施してください。 Windows へのログインが一般ユーザーアカウントであった場合は、管理者アカウントのパスワード入力が必要となります。 ※ 管理者アカウントが分からない場合は、各医療機関のシステム管理者とご調整をお願いいたします。</p> <p>② 管理者アカウントのパスワードを入力します。</p> <p>③ 「はい」 ボタンをクリックします。</p>

.NET Framework 4.0 以上がインストールされていない場合

画面	操作説明
	<p>【注意】 .NET Framework 4.0 以上がインストールされていない場合はユーザーアカウント制御画面の後に下記のメッセージが表示されます。</p> <p>① .NET Framework 4.0 に関するエラーメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。</p> <p>② 現環境で実行可能なインストーラーに切り替えるメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。</p>
	<p>【注意】 上記メッセージが表示されている際に、背面に表示される左記のコンソール画面は閉じないでください。</p>

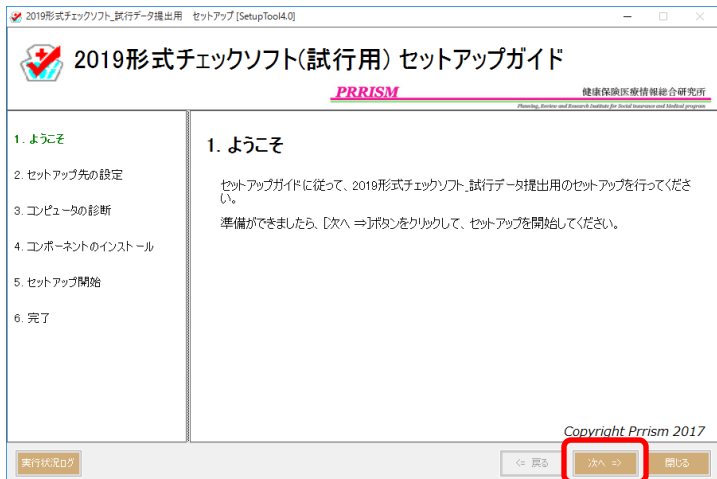
.NET Framework 3.5 の有効化

●.NET Framework 3.5 インストールガイド画面

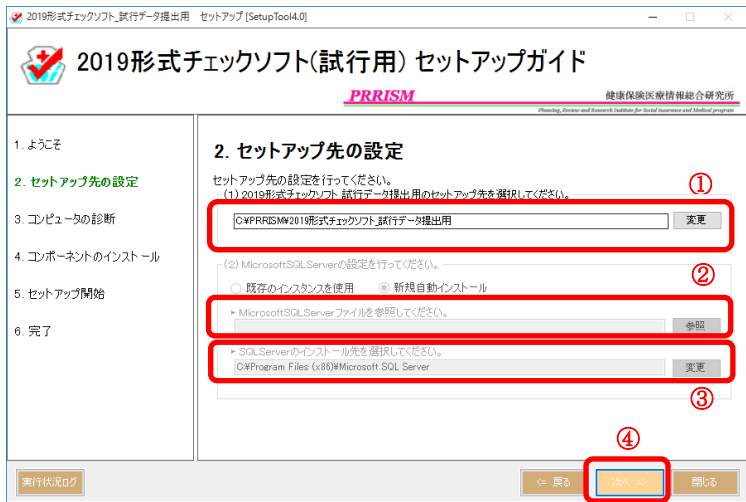
画面	操作説明
	<p>① 「.NET Framework3.5 インストール」ガイド画面が表示されます。</p> <p>※ 「.NET Framework3.5」が既に有効化されている場合、この画面はスキップされます。</p> <p>② OSのインストールメディアを CD/DVD ドライブにセットします。</p> <p>③ 「PC 付属の OS インストールメディアを読み込む」にチェックを入れます。</p> <p>④ OS のインストールメディアを挿入したドライブを指定します。</p> <p>⑤ 「開始」ボタンをクリックすることで「.NET Framework3.5」のインストールが開始されます。</p> <p>⑥ 「完了」メッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。</p> <p>⑦ 「2019 形式チェックソフト（試用用） セットアップ ガイド」がアクティブになります。</p>

2019 年度 形式チェックソフト（試行用）のインストール

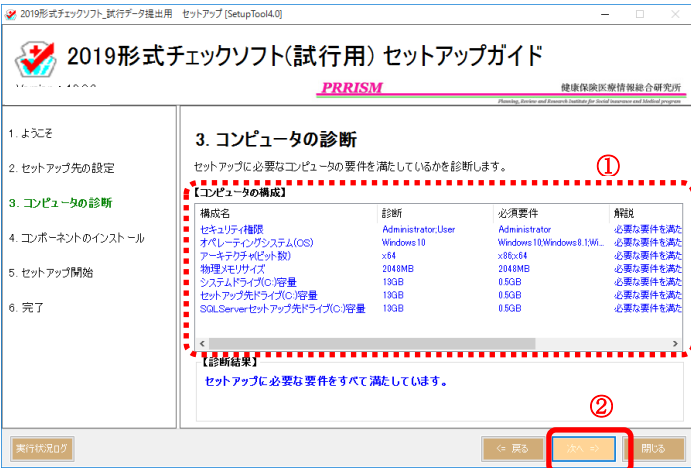
- セットアップガイド画面
 - ようこそ

画面	操作説明
	<p>① 形式チェックソフト（試行用）が立ち上がると「ようこそ」画面が表示されるので「次へ =>」ボタンをクリックします。</p>

- セットアップ先の設定

画面	操作説明
	<p>① 形式チェックソフト（試行用）のセットアップ先（インストール先）の場所を入力します。 ※新規インストールの場合は、[変更]ボタンより、変更が可能です。</p> <p>▽SQLServer2014 Express SP3 がインストールされていない場合のみ選択可】</p> <p>② SQLServer ファイルを参照します。 ※「SQLEXP.ssi」ファイルは、形式チェックソフト（試行用）のダウンロードサイトで入手可能です</p> <p>③ SQLServer のインストール先の場所を入力します。 変更する場合は、[変更]ボタンより、変更が可能です。 ※インスタンス名は、「CODECHECK2014」となります。</p> <p>④ 設定終了後、「次へ =>」ボタンをクリックします。 システムドライブと同じドライブを選択した場合は、確認メッセージが表示されるので[はい]ボタンをクリックします。</p>

➤ コンピュータの診断

画面	操作説明
	<p>① 【コンピュータの構成】で、すべてのシステム要件を満たさないと、次に進めません。</p> <p>② コンピュータの診断内容がすべてシステムの要件を満たしていることを確認して「次へ =>」ボタンをクリックします。</p>

※ コンピュータの診断について

【コンピュータの構成】			
構成名	診断	必須要件	解説
セキュリティ権限	Administrator, User	Administrator	必要な要件を満た
オペレーティングシステム(OS)	Windows 10	Windows 10/Windows 8.1/Wi...	必要な要件を満た
アーキテクチャ(ビット数)	x64	x86/x64	必要な要件を満た
物理メモリサイズ	2048MB	2048MB	必要な要件を満た
システムドライブ(C:)容量	13GB	0.5GB	必要な要件を満た
セットアップ先ドライブ(C:)容量	13GB	0.5GB	必要な要件を満た
SQL Server セットアップ先ドライブ(C:)容量	13GB	0.5GB	必要な要件を満た

【構成名】	コンピュータの確認名称
【診断】	対象コンピュータの状況
【必須要件】	セットアップするうえでの必須条件
【解説】	結果の説明を表示

※ 必須要件と診断結果対応

構成名	必須要件	要件を満たさない場合
セキュリティ権限	Administrator 権限を持つユーザー	Administrator 権限の Windows ユーザーで実行します
OS	Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 【推奨】	OS の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います
アーキテクチャ(ビット数)	x64、x86	アーキテクチャの必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います
物理メモリサイズ	2GB 以上	物理メモリサイズの必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います
システムドライブ(C:)容量	0.5GB	システムドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います
セットアップ先ドライブ(C:)容量	0.5GB	セットアップ先ドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います
SQL Server セットアップ先ドライブ(C:)容量	0.5GB	SQL Server セットアップ先ドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います

➤ コンポーネントのインストール

画面

操作説明

2019形式チェックソフト(試行用) セットアップガイド

PRRISM 健康保険医療情報総合研究所

1. ようこそ
2. セットアップ先の設定
3. コンピュータの診断
4. **コンポーネントのインストール**
5. セットアップ開始
6. 完了

4. コンポーネントのインストール

セットアップに必要なコンポーネントの確認とインストールを行います。

【コンポーネントの確認】

状況	No	処理内容	結果
設定済	1	Net Framework 3.5	インストール済み

必要なコンポーネントは、すべてインストールされています。

インストール開始

実行状況ログ < 戻る **次へ >** 閉じる

① 【コンポーネントの確認】で、すべてのコンポーネントをインストールしないと、次に進めません。

② すべてのコンポーネントがインストールされていることを確認して「次へ =>」ボタンをクリックします。

【コンポーネントの確認】

状況	No	処理内容	結果
設定済	1	Net Framework 3.5	インストール済み
未設定	2	Net Framework 4.0	インストールが必要です
未設定	3	Net Framework 4.0 日本語 LanguagePack	インストールが必要です

必要なコンポーネントが、すべてインストールされていません。

インストール開始

③ Windows7 で「.NET Framework 4.0」がインストールされていない場合は「インストール開始」ボタンをクリックします。

※Windows8.1/10 の場合はデフォルトで「.NET Framework4.0」がインストールされています。

※ コンピュータの診断について

【コンポーネントの確認】

状況	No	処理内容	結果
設定済	1	.Net Framework 3.5	インストール済み
設定済	2	.Net Framework 4.0	インストール済み
設定済	3	.Net Framework 4.0 日本語 LanguagePack	インストール済み

【状況】 インストールされているかどうかを表示

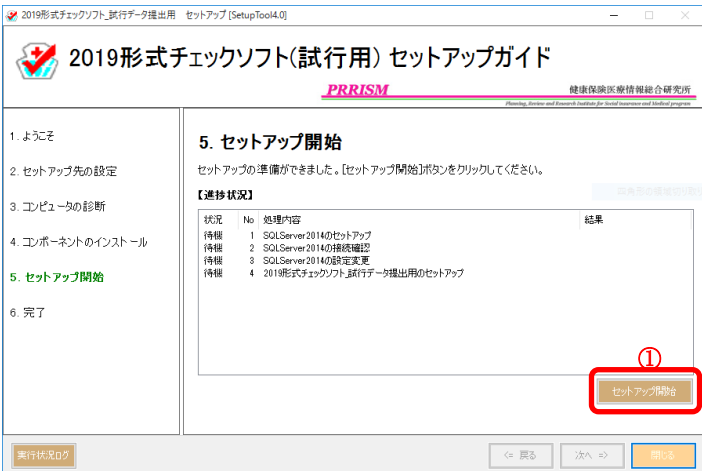
【No】 表示番号を表示

【処理内容】 対象のコンポーネント名を表示

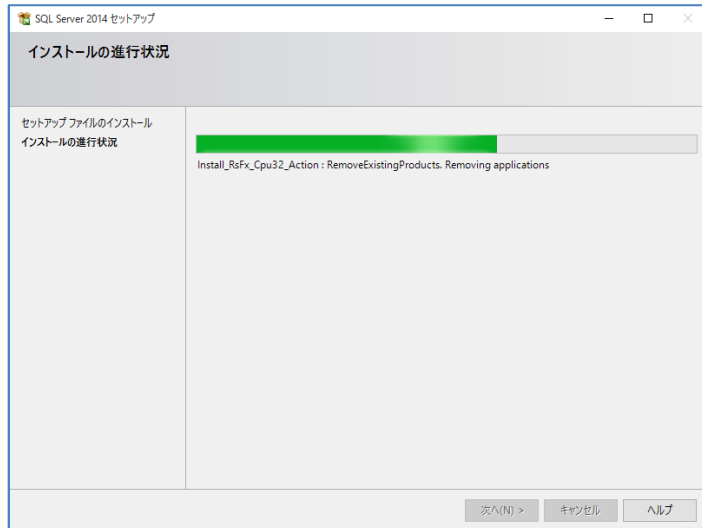
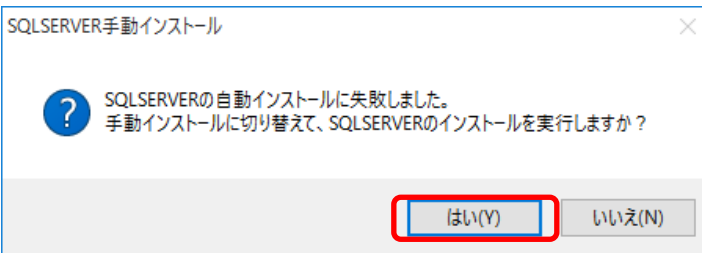
【結果】 結果の説明を表示



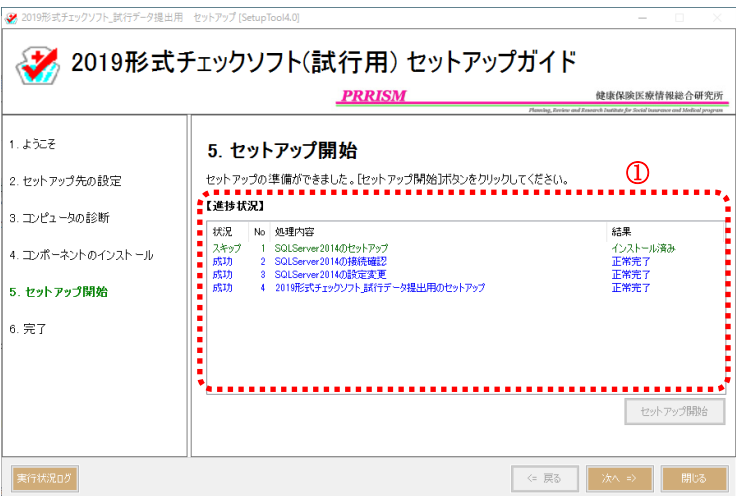
➤ セットアップ開始

画面	操作説明
	<p>① 「セットアップ開始」画面が表示されます。「セットアップ開始」ボタンをクリックすると、セットアップが開始されます。</p> <p>※ セットアップされるプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ SQLServer2014 Express SP3 ➤ 2019 形式チェックソフト（試行用）

➤ SQL Server 2014 セットアップ

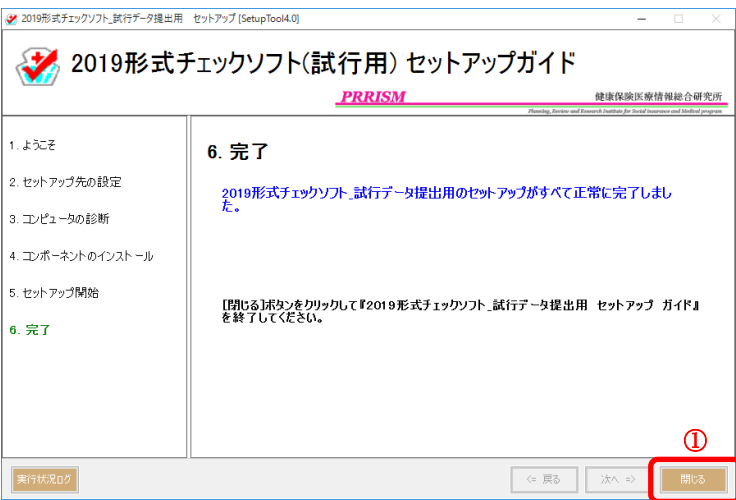
画面	操作説明
	<p>【SQLServer2014 Express SP3 がインストールされていない場合のみ】</p> <p>① SQL Server がインストールされていない場合、自動的に「SQLServer2014 Express SP3」のセットアップ画面が表示され、インストールが行われます。</p> <p>② インストールが完了すると自動的に「SQL Server 2014 セットアップ」画面が閉じられます。</p>
	<p>※SQL Server 2014 自動セットアップに失敗した際は「はい」ボタンをクリックしていただき、13～17 ページに記載してあります、「SQL Server 2014 手動セットアップ」を参照してください。</p>

➤ 進捗状況

画面	操作説明
	<p>① セットアップ中、進捗状況の「結果」にセットアップ実行結果が反映されます。</p> <p>② すべてのセットアップが完了すると、「セットアップ完了」メッセージが表示されるので「OK」ボタンをクリックします。</p>



➤ 完了

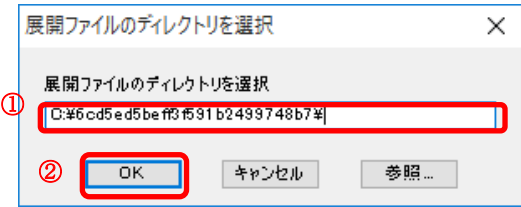
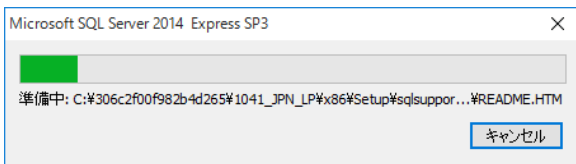

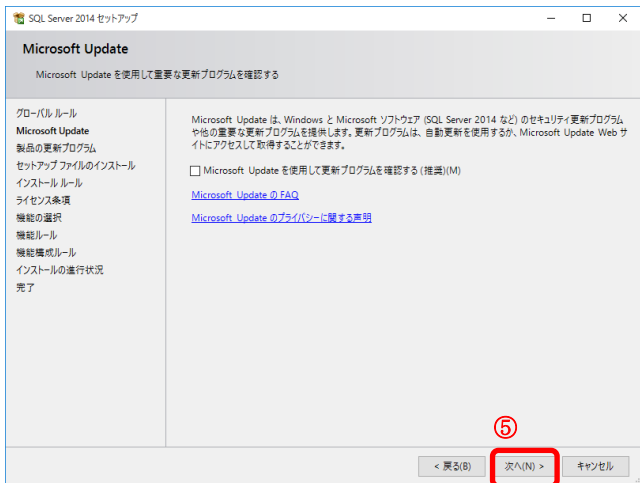
画面	操作説明
	<p>① すべてのインストールが完了し、「完了」画面が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックし、セットアップガイドを終了します。</p>


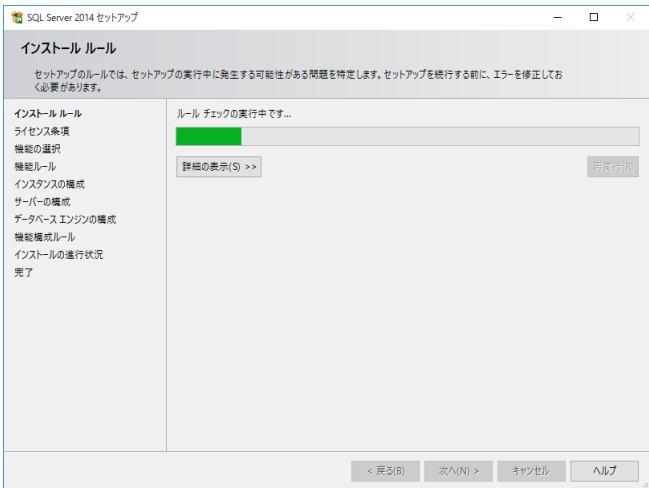
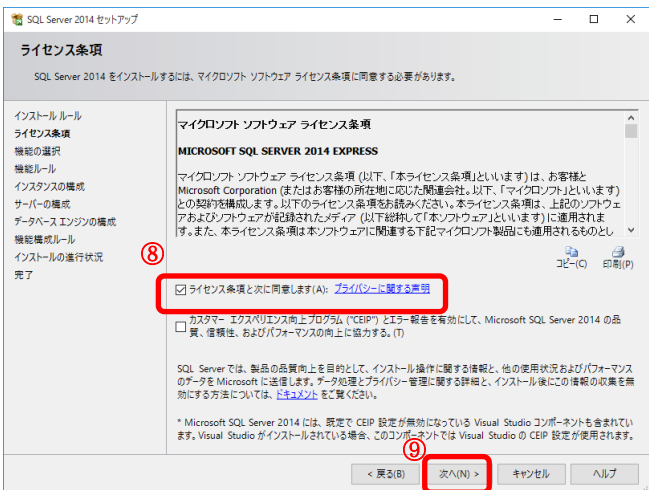
以上で形式チェックソフトのインストールは終了となります。

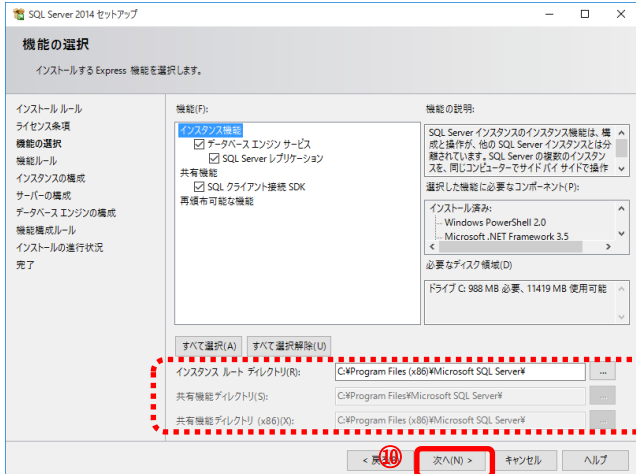
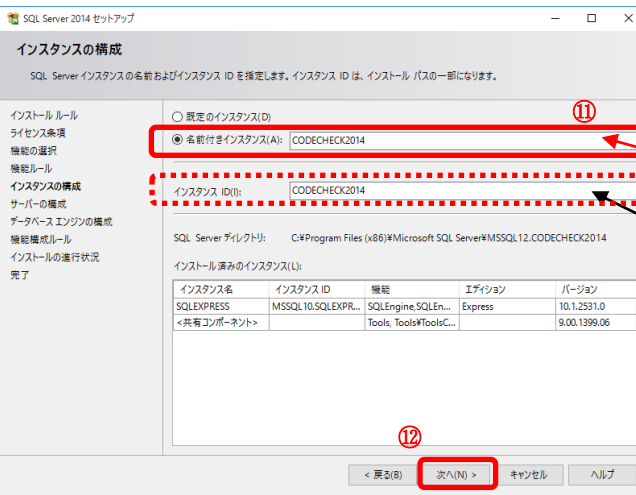
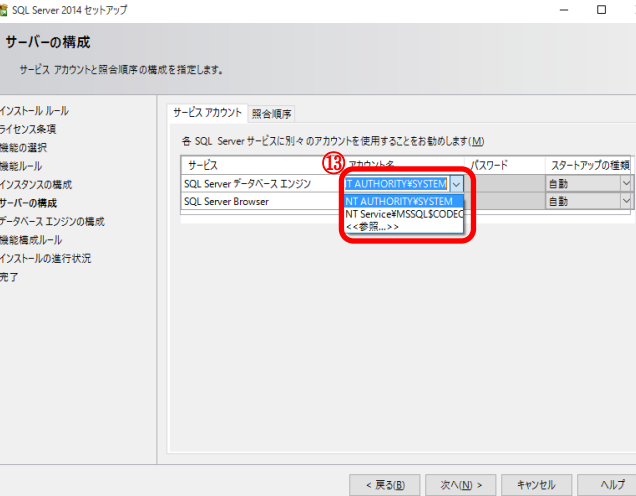
形式チェックソフト起動後、初めて形式チェックを使用する場合は 18 ページの「初回認証」を実施してください。

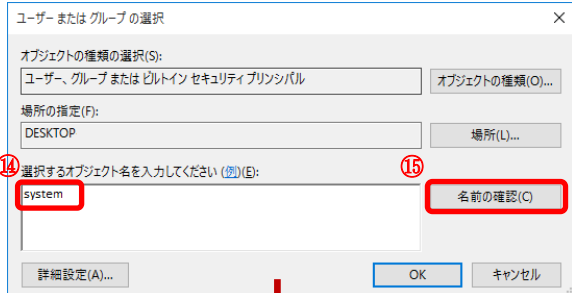
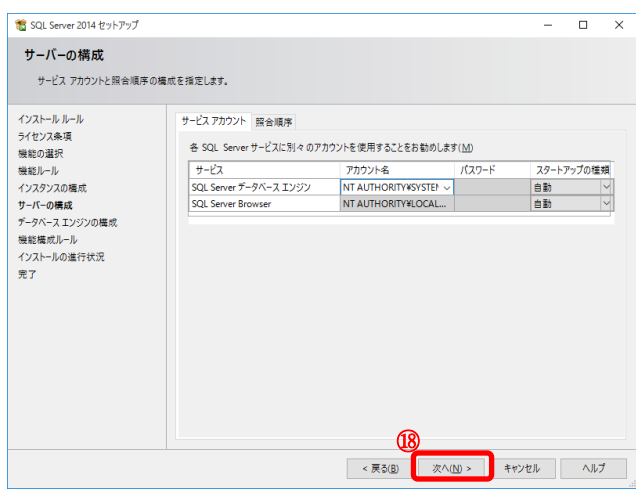
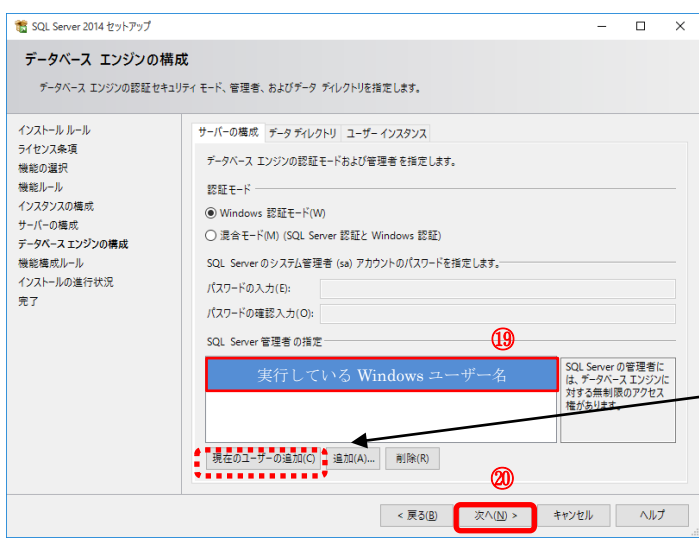
以降の操作については、「DPC 形式チェックソフト操作マニュアル」をご参照ください。

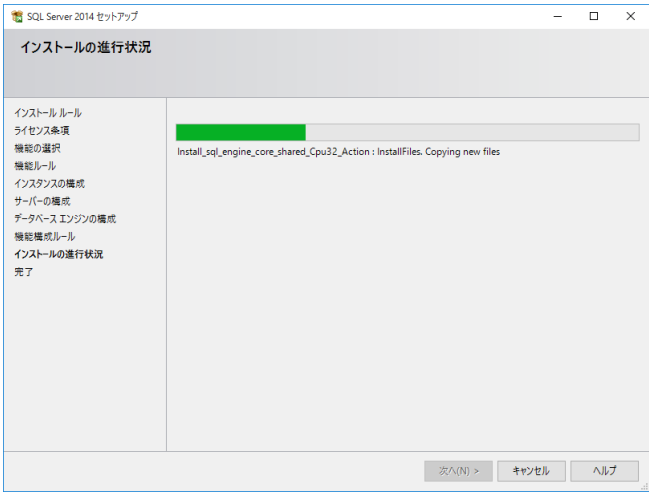

SQL Server 2014 手動セットアップ (11 ページ記載の SQL Server 2014 自動セットアップ失敗時にご参照ください)

画面	操作説明
	<p>① SQL Server 2014 セットアップファイルを展開する場所を設定してください。</p> <p>※ ここで設定したディレクトリに SQL Server 2014 がインストールされるわけはありませんので、ご注意ください。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【注意】 展開ファイルのディレクトリは中身が空のディレクトリを選択してください。</p> </div> <p>② 「OK」ボタンをクリックします。</p>
	<p>③ 展開処理が開始されますので、待機します。</p>
	<p>④ インストールセンターの画面が表示されたら、「SQL Server の新規スタンドアロン インストールを実行するか、既存のインストールに機能を追加します」をクリックします。</p>
	<p>⑤ Microsoft Update の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。</p>

画面	操作説明
	<p>⑥ 製品の更新プログラムの画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑦ インストールルールの確認が実行されますので、待機します。</p>
	<p>⑧ ライセンス条項に同意しますにチェックを入れます。</p> <p>⑨ 「次へ」ボタンをクリックします。</p>

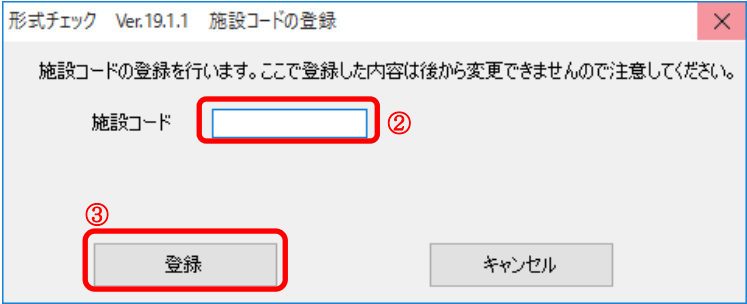
画面	操作説明
	<p>⑩ 機能の選択画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。</p> <p>SQLServer インストール先を変更する必要がある場合は、適宜行ってください。</p>
	<p>⑪ 名前付きインスタンスを選択して、半角英数字で「CODECHECK2014」と入力します。</p> <p>⑫ 「次へ」ボタンをクリックします。</p> <p>名前付きインスタンスに「CODECHECK2014」と入力ください。</p> <p>インスタンス ID のテキストボックスをクリックすると自動で「CODECHECK2014」と入力されます。</p> <p>【注意】 名前付きインスタンス・インスタンス ID が、半角英数字で「CODECHECK2014」と入力されていることをご確認ください。</p>
	<p>【注意】 SQL Server データベース エンジンのアカウントは、以下の手順で必ず「NT AUTHORITY\SYSTEM」で設定してください。</p> <p>⑬ SQL Server データベース エンジンのアカウント名のプルダウンを表示して、参照ボタンをクリックします。</p>

画面	操作説明
 <p>⑭ ユーザーまたはグループの選択画面が表示されたら、入力欄に半角英字で「system」と入力します。</p> <p>【注意】必ず半角英字で「system」と入力してください。</p> <p>⑮ 「名前の確認」ボタンをクリックします。</p> <p>⑯ 入力した値が「SYSTEM」に変更されます。</p> <p>⑰ 「OK」ボタンをクリックします。</p>	
 <p>⑱ 「次へ」ボタンをクリックします。</p>	
 <p>⑲ 実行している Windows ユーザー名が表示されているか確認します。 (表示されていない場合は、追加してください)</p> <p>⑳ 「次へ」ボタンをクリックします。</p> <p>【注意】実行している Windows ユーザー名の表示がない場合は、「現在のユーザーの追加」ボタンをクリックして、ユーザーを追加してください。</p>	


画面	操作説明
	<p>②① インストールが開始されますので、インストールが完了するまで待機します。</p> <p>【注意】 お使いの PC の環境によっては、インストールが完了するまで、30 分以上かかる場合があります。途中で、インストールを中断せず、処理が終わるまで操作しないでください。</p>
	<p>②② インストールが完了したら、「閉じる」ボタンをクリックして終了します。</p>
	<p>②③ インストールセンターの画面も閉じてください。</p> <p>インストールセンターの画面を閉じましたら、セットアップ開始が再開されますので、引き続きセットアップ(12 ページ:進捗状況から)を実施してください。</p>

初回認証

(形式チェックソフトを初めて起動したときに表示される画面になります)

画面	操作説明
	<p>① 「2019 年度 形式チェックソフト（試行用）」を実行します。</p> <p>② 初回起動時に施設コードの登録が必要です。</p> <p>※ 形式チェックを行う医療機関の施設コード（県コード 2 桁+医療機関コード 7 桁の計 9 桁の数字）を入力します。</p> <p>※ 初回認証画面は初めて「2019 年度 形式チェックソフト（試行用）」を実行した時のみ表示されます。2 回目以降は表示されません。</p> <p>③ 施設コードを入力後、「登録」ボタンをクリックすると「形式チェックソフト（試行用）」のメニュー画面が開きます。</p> <p>※ 施設コードを入力してもメニュー画面が開かず「入力された施設コードは～」のメッセージが出力される場合は、20 ページ「Q&A」の「初回認証時」をご参照ください。</p>

アンインストール方法

画面	操作説明
<p>「プログラムと機能」画面</p> 	<p>① 「コントロールパネル」から「プログラムと機能」を立ち上げます。</p> <p>② 「プログラムと機能」画面から、「2019 形式チェックソフト_試行データ提出用」を選択し、「アンインストール」を実行します。 （.NET Framework 3.5 のアンインストールは必要ありません）</p> <p>※ アンインストールを実行するには、管理者アカウントで作業を行う必要があります。標準ユーザーで Windows にログインしている場合は、管理者アカウントのパスワードを入力してください。 Windows の管理者アカウントでの作業については、各医療機関のシステム管理者とご調整をお願いいたします。</p>

Q&A

1. インストール時

No	質問	回答
1	Windows10 にはデフォルトで .NET Framework 4.x がインストール済みですが、3.5 の有効化が必要なのでしょうか？	必要です。本マニュアルの「インストール方法」 「.NET Framework 3.5」の有効化を参照し、 「.NET Framework 3.5」を有効化して下さい。
2	セットアップ.EXE の実行時、「古いバージョンのセットアップ EXE は、起動できません。」「既に同一のバージョンは適用済みです。セットアップツールを終了します。」と表示される。	古いセットアップ.EXE を起動しています。 調査用ホームページより、最新のセットアップ.EXE をダウンロードしてください。
3	セットアップ時に、エラーが発生して、インストールができない。	「P.21 インストールができない場合」を参照のうえ、 ログファイル及びエラー画面のエラー情報を添付のうえ、お問い合わせください。

2. 初回認証時

No	質問	回答
1	「入力された施設コードは～」のメッセージが出て登録できません。	下記 2 点をお願いします。 ①施設コードが間違いないかを確認して再度登録して下さい。 ②それでも登録できない場合は事務局登録の施設コードと異なる可能性があります。DPC 調査事務局（dpc@prism.com）宛でメールの件名を「形式チェックソフト施設コードの件」とし、本文に「1.病院名・氏名・連絡先、2.施設コード、3.状況」を記載の上ご連絡下さい。 <u>その際、調査用ホームページより、連絡担当者変更届をダウンロードの上、同時に提出してください。</u> 確認の上、折り返し対処方法をご連絡いたします。

インストールができない場合

2019 年度形式チェックソフト（試行用）について、インストーラーを実行した際にエラー等でインストールができない場合は、**PC を再起動**して、セットアップ.EXE を実行してください。

それでも、セットアップエラーが発生するようでしたら、以下のエラー情報を添付したうえで、事務局（dpc@prism.com）に送付ください。

添付するエラー情報

1. セットアップツールの「実行状況ログファイル」を出力し送付ください。
セットアップツール画面の左下にある[実行状況ログ]ボタンより出力できます。
（ファイル名：実行状況ログ_YYYYMMDD_hhmmss.xml）
2. セットアップツール実行時、エラーが発生した画面のハードコピーをお送りください。
（可能であれば、エラーメッセージが見える画像）
3. SQLServer2014ExpressSP3 のインストールログファイルをお送りください。
下記の出力先に出力されます。

【SQLServer2014ExpressSP3 インストールログの出力先】

「32bit の場合」：

「C:\Program Files\Microsoft SQL Server\120\Setup Bootstrap\Log\yyyyMMdd_hhmmss\SuSummary_PC 名_YYYYMMDD_hhmmss.txt」

「64bit の場合」：

「C:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server\120\Setup Bootstrap\Log\yyyyMMdd_hhmmss\SuSummary_PC 名_YYYYMMDD_hhmmss.txt」

本プログラムは 2019 年度 DPC 導入の影響評価に係る調査に参加する病院向けに弊社が開発したシステムを配布するものです。それ以外の目的に利用すること及び調査参加病院以外が利用することは出来ません。

また、本プログラム及び本マニュアルの内容に基づいて類似のソフトウェアを開発することは禁じられています。